

RAKUWA

Vol. 121
2019年 新年号

特集 最新の医療

地域の認知症の治療に 積極的に取り組む

洛和会音羽リハビリテーション病院
メモリークリニック / 脳神経内科 院長 木村 透

男と女の違い

トップメッセージ
理事長 矢野 有洛

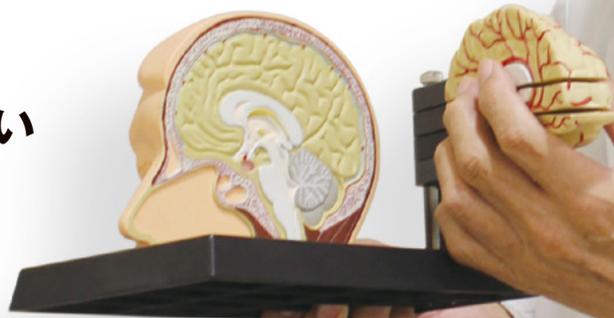
新年の ごあいさつ

洛和会訪問看護ステーション21 機能強化型2算定ステーション としての誇り

介護事業部 NO1課 訪問看護事業 統括
主席課長 二股 美由紀

本日休診

美術館巡り
洛和会東寺南病院 内科
副院長 福永 康智





地域の認知症の治療に積極的に取り組む

洛和会音羽リハビリテーション病院 メモリークリニック／脳神経内科 院長 **木村 透**
（認知症サポート医、日本認知症学会専門医）

近年、世界／日本では認知症患者が急増していますが、欧米では最近、生活習慣病の管理や教育で、予想と比べ認知症の発症率が下がってきているとのうれしいデータも報告されています。洛和会音羽リハビリテーション病院のメモリークリニックでは、認知症の鑑別診断／治療導入を行うとともに、予防のための生活習慣改善の指導にも取り組んでいます。

受診の流れ

初回受診（所要時間2時間程度）

- 問診
- 診察
- 認知機能テスト（簡易）
- 身体的検査（採血、心電図など）
- 神経画像検査（MRI または CT）

2回目の受診（必要に応じて）

- 脳血流シンチ（SPECT）
 - 認知機能テスト（詳細）
- ※結果説明のうえ、薬物治療の導入や生活指導などを行います。希望により、介護サービスや新薬治験の紹介も行います。

さまざまな角度から認知症の鑑別診断を行う

① 問診と認知機能テスト
 当院のメモリークリニックでは、医師、看護師、臨床心理士などが次の①～③の検査・評価を行い、来院された方が認知症なのかどうか、認知症であればその程度（重症度はどうか、その原因疾患）アルツハイマー、レビー小体病、脳血管性など）は何なのか、を診断します。

② 神経画像検査
 MRIやCTで、脳の構造的な変化（脳血管障害、硬膜下血腫、水頭症、萎縮の有無）をチェックします。必要に応じ、脳血流SPECTを行い、より正確な鑑別診断を行います。レビー小体病やそのほかのパーキンソン関連疾患による認知症の鑑別にはDATスキャン、

士がMMSE、時計描写テスト（WeCDT）など簡易な認知機能スクリーニングを行い、必要に応じて、MOCA、FAB、ADASなどのテストも施行し、認知機能のレベルを評価します。

③ 神経学的検査
 神経専門医の診察に加え、血液検査、心電図、エコー検査などで、認知症の原因となる身体的疾患（ビタミン欠乏症、ホルモン異常など）の有無を調べます。



MRI

MIBG心筋シンチが極めて有用です。

暮らしを考えた治療導入

認知症患者には、薬物療法、非薬物療法、介護（ケア）を適切に組み合わせた治療介入が必要と考えられています。

認知機能低下に対する薬物療法としては、現在使用できる抗認知症薬投与を考えるのは当然ですが、アドヒアランスと定期的な効果、副作用のチェックが必要です。また徘徊、妄想、暴言など

のBPSDに対しては非薬物的対応を中心に、適切な薬物療法は何か、事例ごとに患者さんや介護者など関係者と協議するよう努めています。

昨年度から当院も京都市認知症初期集中支援事業（詳細は4ページ）に参加しており、地域の認知症診療にさらに貢献できればと考えております。

認知症治験実施状況

アルツハイマー病は、長い時間をかけて脳内にアミロイドβやタウなどの異常蛋白が蓄積することが原因とされています。当院では現在、まだ認知症でないMCI（軽度認知機能障害）の方を対象にアミロイドβ、タウに対する薬の臨床治験を行っています。対象となる患者さんがおられましたら、ぜひご紹介ください。





Top Message トップメッセージ

男と女のの違い

先日、私の古くからの友人で、老人医療の一番の先駆者であり、青梅慶友病院を開設している大塚宣夫先生と、エッセイストの阿川佐和子さんの共著『看る力』という本を送っていただいた。その中で、メチャメチャ共感した部分があったので、原文より引用する。遠藤周作氏から聞いた話として、入院している旦那さんがだんだんと弱ってきて記憶が曖昧になって、最後まで覚えていた言葉は、奥さんかお嬢さんの名前。ところが、反対に奥さんが弱って記憶が薄らいでいった場合、最初に忘れるのが、亭主の名前。又、奥さんが先に亡くなった場合は、ご主人の方は、

二年以内に跡を追う人が少なくなると言われています。だけど、ご主人に先立たれた奥さんはね、半年経つと完全に元気になる。けろりと。(そう言えば、私の母親もそうでしたね!!)

それからこんな話も。奥さんが入院すると、ご主人は定期券を買って、毎日お見舞いに来る。逆にご主人が入院すると、奥さんは定期券を買って、毎日都心のデパートへ行きます。

みなさん、どう思いますか？なんとなく、そんな気がして、同感したりして。男と女。やっぱり病気より怖いかな???

洛和会ヘルスケアシステム
の 理事長 矢野有洛 (一郎)



予防には生活習慣の見直しが大切

適切な運動や社会的活動、睡眠、栄養バランスのとれた食事、禁煙が認知症のリスクを減らすといわれています。また、糖尿病や心房細動、心不全、中年期の高血圧、肥満などが認知症発症と関連しているとのデータもあります。認知症の予防には、生活習慣の改善、生活習慣病のコントロールが必須と考えられ、その啓発・指導が極めて重要なのです。

ご紹介いただきました患者さんは、当院での鑑別診断、治療導入後、大きな問題がなければ基本的に逆紹介させていただきます。ご希望により認知機能テストや薬物療法の再評価を当院で定期的(3〜6カ月ごと)に行い、必要に応じて神経画像検査もさせていただきますので、ご利用いただければ幸いです。

お問い合わせ

メモリークリニック (物忘れ外来)
※完全予約制
月・木曜日(午前8時30分~正午)

洛和会音羽リハビリテーション病院
脳神経内科
TEL 075(581)6221(代)

地域連携課
TEL 075(581)6868(直通)

ご存じですか?

京都市認知症初期集中支援事業

当院は、京都市認知症初期集中支援事業の受託事業者です。精神保健福祉士が在宅へお伺いし、認知症でお困りの方の相談を承っています。お気軽にご相談ください。

認知症が疑われる方・認知症の方およびご家族

↓ 相談

- 地域包括支援センター ■ かかりつけ医・地域住民 ■ 区役所、関係機関

↓ 情報提供

- 認知症初期集中支援チーム [医療専門職・介護専門職・専門医]

↓ 訪問・チーム会議へ

- 医療・介護の専門家がご相談者のケースについて話し合います。

サービス開始後も、経過観察 ↓ 認知症になっても住み慣れた地域で生活を!

適切な医療・介護サービスへ

- お住まいの地域のかかりつけ医や地域包括支援センターなどをご紹介させていただきます。

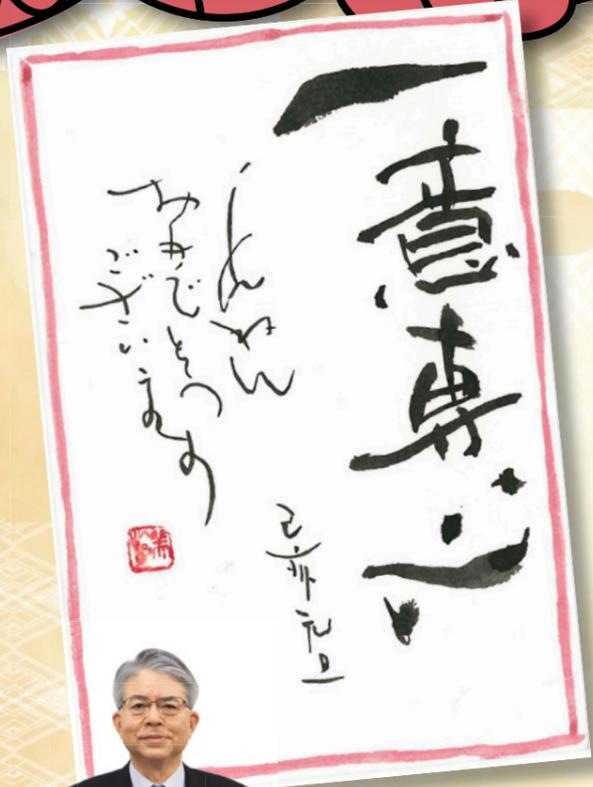
洛和会音羽リハビリテーション病院に山科区エリアの窓口を設置

当会が「平成30年度京都市認知症初期集中支援事業」を受託し、山科区エリアの認知症初期集中支援チームの窓口を洛和会音羽リハビリテーション病院内に設置しました。

お問い合わせ
京都市山科区認知症初期集中支援チーム
(洛和会音羽リハビリテーション病院内)
TEL 075(582)5535(直通)
(月~金曜日 午前9時~午後5時) ※土・日・祝日・年末年始を除く



洛和会音羽記念病院
たけうち としふみ
院長 武内 俊史



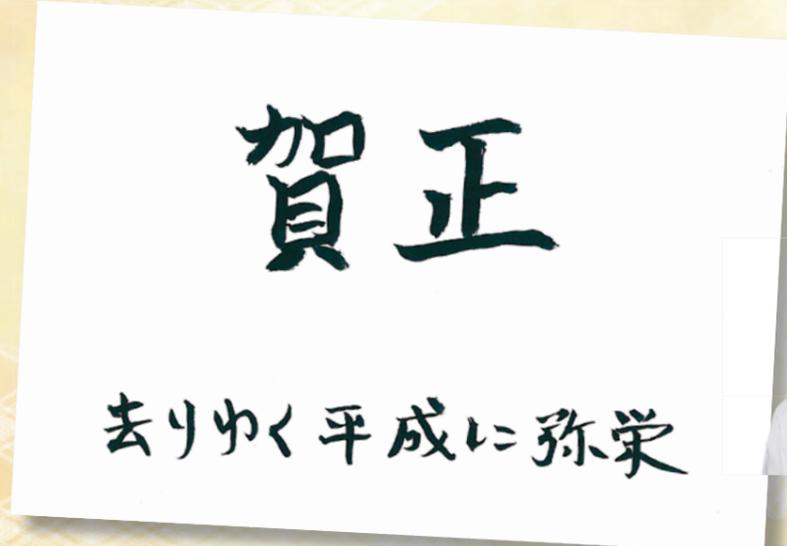
洛和会ヘルスケアシステム
まつむら ただし
総長 松村 理司

平成の年号も新たに、
新しい年がさらに良い年になるよう
祈念いたしましたして、各病院の院長から
新年のごあいさつを申し上げます。
どうか皆さま、
本年もよろしくお願いいたします。

あけまして
おめでとーうーいす
あけまして
おめでとーうーいす



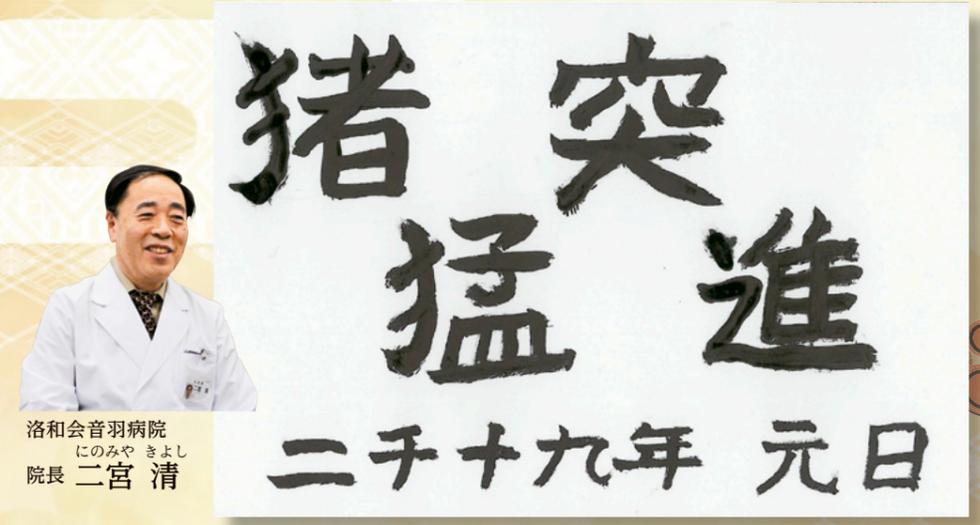
洛和会音羽
リハビリテーション病院
きむら とおる
院長 木村 透



洛和会丸太町病院
ほそかわ とよし
院長 細川 豊史



洛和会東寺南病院
こんどう もりひろ
院長 近藤 守寛



洛和会音羽病院
にのみや きよし
院長 二宮 清

機能強化型2算定ステーションとしての誇り

超高齢社会を迎えるにあたり、日本看護協会・日本訪問看護財団・全国訪問看護事業協会によって今後の訪問看護の方向性を示す「訪問看護フシオンプラン2025」が2014年に策定されました。当会でもこのプランに基づいて訪問看護ステーションの規模拡大・多機能化を図り、2015年5月に洛和会訪問看護ステーション21に洛和会訪問看護ステーション北花山を統合。常勤13人、非常勤9人の大型訪問看護ステーションとして洛和会音羽病院の前に移転開設し、2018年4月に「機能強化型2」の訪問看護ステーションとして認定を受けました。(下表)

認定を受けるまでの経緯として、表①②③⑤⑥の要件は早期に達成しましたが、④のターミナル件数がなかなかクリアできませんでした。そこで、洛和会音羽

【機能強化型訪問看護ステーションの算定要件】

要件	機能強化型1	機能強化型2	新機能強化型3
管理療養費（月の初日の訪問）	12,000円	9,400円	8,400円
① 常勤看護職員の数	7人以上	5人以上	4人以上
② 24時間対応体制加算の届出を行なっている/休日・祝日も含めた計画的な訪問看護の実施	24時間対応体制加算の届出を行なっている/休日・祝日も含めた計画的な訪問看護の実施	24時間対応体制加算の届出を行なっている/休日・祝日も含めた計画的な訪問看護の実施	24時間対応体制加算の届出を行なっている/休日・祝日も含めた計画的な訪問看護の実施
③ 重症度の高い利用者の受け入れ	別表7に該当する利用者10人以上/月	別表7に該当する利用者7人以上/月	別表7、8に該当する利用者、精神科重症患者 or 複数の訪問看護が共同している利用者10人以上/月
④ ターミナルケア又は重症児の受入実績（いずれかを満たす事） ① ターミナル件数 ② ターミナル件数且つ重症児・準重症児の利用者数 ③ 重症児・準重症児の利用者数	① 20件/年 ② 15件/年4人 ③ 6人	① 15件/年 ② 10件/年3人 ③ 5人	—
⑤ 居宅介護支援事業所、特定相談支援事業所又は障害児相談支援事業所を同一敷地内に設置	居宅介護支援事業所、特定相談支援事業所又は障害児相談支援事業所を同一敷地内に設置	居宅介護支援事業所、特定相談支援事業所又は障害児相談支援事業所を同一敷地内に設置	居宅介護支援事業所、特定相談支援事業所又は障害児相談支援事業所を同一敷地内に設置
⑥ 情報提供・相談・人材育成等	地域住民に対する情報提供や相談、人材育成のための研修実施	地域住民に対する情報提供や相談、人材育成のための研修実施	医療機関や他の訪問看護STを対象とした研修2回以上/年、地域住民に対する情報提供や相談、人材育成のための研修実施
⑦	—	—	⑧の医療機関以外の退院時共同指導加算、併設医療機関外の医師を主治医とする利用者1割以上
⑧	—	—	医療機関の看護職員の訪問看護STでの勤務実績

病棟の病棟カンファレンスへ参加し、他病院への渉外を行うなど地道な活動を開始しました。その結果、大型ステーションの強みとして当日依頼・即日訪問開始の対応もあり、少しずつステーションの機能が周知され、徐々にターミナルのケースの依頼をいただけるようになりました。現在は、洛和会訪問看護ステーション21の所長内田倫子（うちだのりこ）が洛和会音羽病院の入退院支援相談室に週1回足を運ぶなど、顔の見える関係も積極的に構築し、スタッフも個々に



関係病院や機関を訪れるなど、利用者さんが安心して在宅生活を持てるよう努めています。また、ステーション内のケースカンファレンスも定期的に、利用者さんの情報を共有することで、点ではなく線で太く関わる看護を目指しています。これからも機能強化型ステーションだからこそできる対応を心掛け、最期まで在宅での生活を希望される利用者さんを柔軟にサポートしてまいります。相談だけでも、まずはお気軽にお問い合わせください。

洛和会訪問看護ステーション 21
〒607-8062 京都市山科区音羽珍事町 1-1
TEL 075 (595) 9821

月～土曜日
※日曜日、祝日、年末年始（12月30日～1月3日）を除く
午前8時30分～午後5時
※午前7時30分～午後8時までは対応可能（要相談）

<http://www.rakuwa.or.jp/kaigo/houkan/st-21/>



左から
二股 美由紀、
内田 倫子

介護事業部 NO.1課
訪問看護事業 統括 主席課長
二股 美由紀

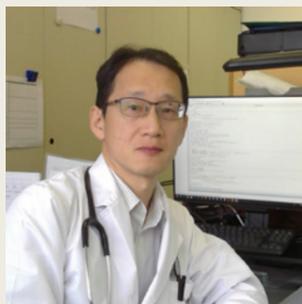


美術館巡り

小学生の頃に油絵を始めたせいで、学生時代はずっと美術関係の部活。医者になつてからは、ほとんど描く時間はなく、そのせいか美術館巡りをするのが趣味になつています。学会で各地に行くと、まずその土地の美術館を訪れます。結構あちこち出掛けましたので、国内の主だった美術館はほぼ制覇したような気がします。基本的に予備知識なしに飛び込みます。そこには新しい絵画や作家との出会いがあります。彫刻などは展示スペース



宮城県立美術館にて



洛和会東寺南病院
内科
副院長
ふくなが やすとも
福永 康智

採光などのタイミングで、後々まで記憶に焼き付く作品もあります。例えば、横浜で初めてブランクシーの『空間の鳥』を見たときの印象は強烈でした。その後、別の機会に訪れると、展示場所が変更になつていったせいか、いまひとつの印象でしたが…。

アムステルダム国立美術館での、レンブラントの『夜警』も圧感でした。これがかきつけて西洋美術史を少しかじるようになりまし。17世紀、オランダ。教会の勢力が衰え、市民社会の隆盛に伴い宗教画は衰退し、後の印象派につながる大きな流れがで始めます。17世紀のオランダと言えば、フェルメールです。現在、9作品が奇跡的に東京に集結しています。学会の予定はないですが、見に行かないと思つています。さすがに『デルフトの眺望』は日本に来るとは思えないので、マウリッツハイス美術館に見に行きたいのですが、時間もないので引退後かなと思つています。

診療部ニューフェイス

NEW FACE

よろしくお願いいたします

2018(平成30)年9月2日～12月31日
① 診療科/役職 ② 着任日 ③ 専門分野
④ 専門認定・資格 ⑤ メッセージ

洛和会丸太町病院

石橋 秀信
いしばし ひでのぶ
① 整形外科/医員
② 10月1日
③ 整形外科一般、脊椎外科
④ 日本整形外科学会整形外科専門医、日本医師会認定産業医
⑤ 整形外科、特に脊椎外科の分野で地域の皆さまに貢献できればと思っています。

倉島 研と
くらしま けんと
① 消化器センター外科/医員
② 12月1日
③ 消化器外科
④ 専門は一般外科・消化器外科です。急性腹痛もぜひご相談ください。

洛和会音羽病院

仲川 孝彦
なかがわ たかひこ
① 腎臓内科/部長
② 11月1日
③ 糖尿病性腎症
④ 日本内科学会認定内科医/総合内科専門医、日本腎臓学会専門医/指導医
⑤ 地域の腎臓病の診療に貢献したいと思っています。

洛和会音羽記念病院

宮崎 隆子
みやざき たかこ
① 血管外科/医長
② 11月1日
③ 心臓血管外科
④ 3学会構成心臓血管外科専門医/指導医、日本外科学会外科専門医/指導医
⑤ 透析関連の分野で皆さまに貢献できますように頑張りたいと思っています。

退職ドクター

ありがとうございました。

洛和会丸太町病院

9月末 横尾 智 整形外科
11月末 岸本 拓磨 消化器センター外科

洛和会音羽病院

9月末 青木 伸明 整形外科
11月末 唐澤 浩紀 形成外科
山手 崇志 シニア・レジデント

洛和会音羽リハビリテーション病院

12月末 中村 悟 リハビリテーション科

2018年10月20日(土)
医科と歯科の連携に向かって

洛和会音羽病院において第1回京都山科医科歯科連携の会が開催されました。「骨粗鬆症医科歯科連携推進のための提案」をテーマに、山科医師会、山科歯科医師会、愛生会山科病院、洛和会音羽病院の医師ら約40人が参加。講演では洛和会音羽病院 口腔外科 部長 今井裕一郎が「骨粗鬆症医科歯科連携推進のための提案」、感染症科 副部長 青島朋裕が「当科が経験したBRONJ症例についての報告」、口腔外科 医員 黒川聡司が「音羽病院口腔外科におけるMRONJの現状につ

いて」を発表しました。多くの先生方から質問が上がり、相互の距離を縮める有意義な勉強会となりました。
 (アールプランニング 岩井)



2018年10月
洛和会東寺南病院に新しい手術室が完成

洛和会東寺南病院に透析患者さんのシャント手術などを行う手術室を改装いたしました。より充実した機能をもって、さらに安心、安全な透析に係る医療を展開してまいります。

洛和会東寺南病院 経営管理部 部長 小寺 勝明



2018年11月29日(木)
地域の往診医師に学ぶ グループホーム職員向け「看取り研修会」

当会介護事業部(京都市下京区)でイトウ診療所伊藤照明先生による「看取り研修会」が実施されました。当会看護・介護職約20人が看取り期の徴候などを事例にて学び、各々の看取りケアの在り方を考える一日となりました。
 (アールプランニング 松岡)



洛和会丸太町病院
 主に在宅療養中の患者さん、ご家族を支援する「地域包括ケア病床」を新設しました。

洛和会音羽病院
 2019年4月から「緩和ケア病棟」を開設します。

京都新聞社主催 「健康生活講座27」

開催日時 2019年2月2日(土) 午後2時~4時
 場所 京都新聞文化ホール 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都新聞ビル7階
 ※地下鉄烏丸線「丸太町駅」7番出口すぐ
テーマ 脳の病気の基本を学ぼう
 ～脳卒中と認知症～
パネリスト 洛和会音羽病院 脳神経内科 部長 和田 裕子 ほか
 聴講ご希望の方は、京都新聞掲載の告知紙面をご覧ください。(12月に3回、1月に3回掲載)

Face to Face * 開業医の皆さまと病院をつなぎます！

洛和会音羽病院 医療介護サービスセンター 地域連携課
 もりた しんいちろう 副係長 **森田 真一郎**
 座右の銘 [勝って驕るな負けて腐るな]
 趣味：魚釣り、音楽鑑賞
 コレなら誰にも負けない!と思うこと：寝起きの良さ
 人生で一番うれしかったことは?：初めて真鯛を釣り上げた時
 紹介患者さんに適切なタイミングで最良の治療を受けていただけるよう、病病・病診連携の橋渡し役として業務に取り組んでおります。「洛和会音羽病院の地域連携課に相談してみよう」と、皆さまから頼っていたいただけるよう精進してまいりますので、これからもよろしくお願いたします。

訪問看護ノート

「看護の力」と「連携」のタッグ

洛和会訪問看護ステーション大津 係長(管理者) **裏加 久子**

認知症の奥さんと2人暮らしの竹田さん(仮名)は、92歳で自身も認知症と診断されており、最近増加している、いわゆる「認認・老老」介護世帯です。状態観察、保清を目的として週1回の予定で訪問看護が開始となりました。訪問を開始して半年後にベッドから転落、救急搬送先で右足関節骨折と診断されましたが、入院を希望せず、家に戻って来られました。しかし、シーネ固定・疼痛のため寝たきり状態となり、尾骨や踵部にも発赤が出現しました。ヘルパーや訪問入浴の関係機関と連携を取りながら、除圧や褥瘡ケアを行っていましたが、体位交換が困難な状態に。徐々に意欲も低下し、低栄養状態の悪化など負の連鎖が起こり始めました。数カ月後、褥瘡は真皮を超え入院も検討さ

れましたが、竹田さんの「入院は絶対嫌や!家がええ!」という強い訴えを受け、私たちは特別訪問看護指示書を医師に依頼し、医療保険での毎日訪問が始まりました。少しでも早く苦痛が軽減し、治療が効果的となるように、病院の皮膚・排泄ケア認定看護師の同行を何度も重ねて在宅での陰圧療法を取り入れ、1年掛けてゴールが見えてきました。本人の意思を尊重し、在宅チームも同じ目標を持ちながら取り組んだ結果、入院せず陰圧療法が実施でき、連携の大切さや「看護の力」を再認識することができました。竹田さんは褥瘡の改善とともに少しずつADLが上がっていきましたが、認知症の進行も見られます。再転倒を起こさず、長く在宅生活ができるよう支援していきたいです。

洛和会へのお客さま

- | | | | |
|-----|---|-----|--|
| 10月 | 11日 社会福祉法人 ソチエンエキンウォンさま(韓国) 洛和ヴィラ桃山を見学 | 11月 | 26日 医療法人スバイン 札幌スバインクリニックさま(北海道) 洛和ホームライフ北野白梅町を見学 |
| | 16日 公益社団法人 京都保健会さま(京都市中京区) 洛和若草保育園、洛和会音羽病院 病児保育室 よつばを見学 | | 日本赤十字社 京都第二赤十字病院さま(京都市上京区) 洛和会音羽病院を見学 |
| 11月 | 13日 社会福祉法人 京都社会事業財団 西陣病院さま(京都市上京区) 洛和会音羽病院を見学 | 12月 | 6日 日本赤十字社 京都第二赤十字病院さま(京都市上京区) 洛和会音羽病院を見学 |
| | 17日 Maria Breast Clinicさま(韓国) 洛和会京都音楽療法研究センターを見学 | | |



洛和会音羽病院のC棟北側に、「音羽の森 夢殿」=写真=があります。室内には薬師如来像が安置され、参道には十二支守り本尊、しあわせ地藏尊が並んでいます。絵馬の奉納を希望される方は、洛和会音羽病院の総合受付までお申し付けください。(1枚100円) 室内の壁面に両界曼荼羅、薬師三尊図の5点の仏画が安置されています。



